

報 告

第 13 回西日本国際福祉機器展

北九州市立総合療育センター 井手 望美
国弘 菜穂子

1. はじめに

第 13 回西日本国際福祉機器展は、2011 年 11 月 18 日（金）～20 日（日）の日程で、福岡県北九州市にある西日本総合展示場新館にて開催されました（図 1）。展示会場は小倉駅よりペデストリアン・デッキを通り徒歩約 5 分とアクセスの良い場所にあります。3 日間を通しての出展者数は 181 社・団体、来場者数は 25,055 人でした。また、第 33 回九州理学療法士・作業療法士合同学会が 19 日（土）、20 日（日）に同期開催されました。



図 1 開会式の様子

2. 展示会の特色

本展示会は西日本で開催される福祉介護機器展としては大阪バリアフリー展に次ぐ地域唯一の大規模展示会で、集客エリアは広島以西九州全域です。

(社) 福岡県作業療法協会、(社) 福岡県理学療法士協会など地域職能団体をはじめ、福祉団体や NPO 法人と企画連携し、地域ぐるみの事業を展開しています。主な対象出展物は日常生活機器・関連用品、福祉事業支援システム、移動用機器、住宅・セキュリティ関連、コミュニケーション機器、出版・情報サービス等、施設用機器です。

3. こどものひろば

北九州市立総合療育センターでは毎年「こどもの

北九州市立総合療育センター

〒 802-0803 福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘 10-2

ひろば」というブースを企画・出展しており、今回で 10 回目の出展となりました。展示ブースには色とりどりの風船を飾り付け、明るく可愛らしい空間をイメージしました（図 2）。



図 2 こどものひろば

展示物は、事前に実施した当センター利用者へのアンケート結果をもとに、車椅子・体位変換器・衣類・靴・カーシートをテーマとし、最新の福祉用具の展示・試乗会を実施しました。各展示物には商品の説明カードを設置し、理学療法士・作業療法士・リハビリ工学技士・販売店が常駐、会場での相談や商品の説明、試乗会を行いました。来場者の感想には、「たくさんの福祉機器が見れてよかったです」、「デザイン性が高いものもたくさんあることが分かった」などのほかに、「衣類の数がもう少し多いと良い」などの要望も挙げられ、今後の展示方法の参考になりました。また、来場者の年齢層は高齢者を含む成人が半数以上を占めており、幅広い年齢層を対象とした展示も視野に入れる必要性を改めて感じました。

4. おわりに

「元気に、その人らしく」生活するため、そして介護者の負担軽減を図るために福祉機器は重要な役割を果たします。本展示会は地域に根差した福祉の情報発信の場の一つとして位置づけられていると感じました。